

——ワイドバンドシステム小特集号

(英文論文誌 A) 論文募集——

ワイドバンドシステム小特集編集委員会

基礎・境界サイエティ英文論文誌では、平成 25 年 1 月号に、ワイドバンドシステム小特集号を企画致しました。

情報通信におけるワイドバンドシステム全般に関する論文を広く募集致します。募集テーマは下記のとおりですが、特にその分野を特定するものではありませんので、多数の御投稿をお待ちしております。

1. 対象分野

- ・ワイドバンドシステム一般
グリーン通信、高速電力線伝送システム・モデリング、高速 xDSL 通信、ITS、スペクトル拡散技術、マルチキャリア技術、OFDM 技術、ウルトラワイドバンド (UWB) 技術、カオス通信、光通信、可視光通信、ソフトウェア無線技術、デジタル TV 技術、無線 LAN 技術など
- ・ワイドバンドシステムのための通信方式・信号処理
変復調方式、同期捕捉、同期追尾、符号、送受信装置、多重アクセス技術 (CDMA, SDMA, TDMA, FDMA, またその複合技術)、信号処理技術、モデリング、測距技術、MIMO 技術など
- ・ワイドバンドシステムのためのデバイス・モジュール・装置
同期回路、低消費電力化技術、モデム、アンテナ、アンプ (PA, LNA など)、LSI 設計・試作、高速動作技術など

2. 論文の執筆と取扱い、投稿方法

投稿は電子投稿でのみ受け付けます。登録と投稿は https://review.ieice.org/regist_e.aspx で行えます。論文は刷り上がり 8 ページ、レターは 2 ページ以内を原則とします。学会ホームページの “Information for Authors” に記載された様式で原稿の準備をお願いします。また、“Copyright Transfer and Page Charge Agreement” と “Confirmation Sheet of Manuscript Registration” を論文投稿締切日までに下記送付先 (編集幹事) まで郵送して下さい。その他の詳細は <http://www.ieice.org/eng/shiori/index.html> で閲覧できます。査読後の再提出期間 (通常 60 日) を短縮する場合がございますので、あらかじめ御了承下さい。採録された全ての論文・レターに関して、掲載別刷代を請求致します。掲載別刷代は、<http://www.ieice.org/eng/shiori/appb.html> にて閲覧できます。

3. WBS 学生奨励賞

採録された論文の中から優れた内容のものには WBS 研究専門委員会から WBS 学生奨励賞を贈呈致します。受賞論文の対象は、第一著者が学生であるものに限ります。

4. 論文投稿締切日 平成 24 年 3 月 16 日 (金) 必着

5. 小特集編集委員会

- 編集委員長：伊丹 誠 (東京理科大)
幹 事：滝沢賢一 (NICT)、小野文枝 (横浜国大)
編集委員：井家上哲史 (明大)、岩切直彦 (東大)、大内浩司 (静岡大)、落合秀樹 (横浜国大)、片山正昭 (名大)、亀田 卓 (東北大)、佐藤慎一 (モバイルテクノ)、齋藤将人 (琉球大)、眞田幸俊 (慶大)、清水昌彦 (富士通研)、庄納 崇 (インテル)、高橋

賢 (広島市大)、羽渕裕真 (茨城大)、浜村昌則 (高知工大)、前原文明 (早大)、宮嶋照行 (茨城大)、村田英一 (京大)、森 香津夫 (三重大)

6. 問合せ先及び送付先

WBS 研究専門委員会 幹事 小野文枝
横浜国立大学大学院工学研究院
〒240-8501 横浜市保土ヶ谷区常盤台 79-5
TEL [045] 339-4148, FAX [045] 338-1157
E-mail : fumie@ynu.ac.jp
Web サイト : <http://www.ieice.org/~wbs/>

7. 付記

本小特集号に論文を投稿する場合、著者のうち少なくとも 1 名は電子情報通信学会の会員である必要があります。また、全ての著者が会員であることを推奨致します。入会につきましては下記 URL を参照下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

——暗号と情報セキュリティ小特集号

(英文論文誌 A) 論文募集——

暗号と情報セキュリティ小特集編集委員会

基礎・境界サイエティでは、英文論文誌 IEICE Transactions on Fundamentals において、「暗号と情報セキュリティ小特集」(Special Section on Cryptography and Information Security) を平成 25 年 1 月号に掲載する予定で企画しています。

本小特集では、このテーマに関する英文論文を一般に広く募集します。特に、平成 24 年 1 月下旬に本学会情報セキュリティ研究専門委員会が主催する「2012 年暗号と情報セキュリティシンポジウム (SCIS2012)」での発表論文の積極的な御投稿をお願いします。なお、同名同目的の小特集は、平成 2 年 7 月号、平成 3 年 8 月号、平成 5 年から平成 24 年の各年 1 月号に掲載実績があります。

1. 対象分野

暗号及び情報セキュリティに関する分野、特に新しく発展しつつある研究分野。

2. 論文の投稿規程及びフォーマット

論文の投稿規程は、電子情報通信学会の Web サイト「The Information for Authors」(http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.html) を御参照下さい。フォーマットは同 Web サイトの 3 章「Manuscript Style Specifications」を御参照下さい。なお、刷り上がりのページ数は、本論文の場合 8 ページ、レターの場合 2 ページを基準とします。

また、<http://www.ieice.org/eng/ads.html> にあります二重投稿に関するポリシーを注意深くお読み下さい。

3. 論文の投稿

Web による投稿のみ受け付けます。下記の投稿手順に従って下さい。

手順 1 : 電子情報通信学会 Web サイト https://review.ieice.org/regist_e.aspx を使って投稿して下さい。Type of issue (section)/Category of Transactions では [Special-EA] Cryptography and Information Security を選択して下さい。[Regular-EA] Fundamentals は選択しないで下さい。

手順 2 : “Copyright Transfer and Page Charge Agreement” と “Confirmation Sheet of Manuscript” を下記へ送付して

下さい。送付方法は、郵送、FAX、スキャンしPDF化したもののメール添付、のいずれの手段でも構いません。これらの書類がないと査読が開始されません。

4. 論文投稿締切日 平成24年3月23日(金) 必着

“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript”がこの期日までに下記送付先(河内)に届くようにして下さい。

5. 採否判定通知

著者には平成24年8月中旬頃までに採否判定結果を通知します。なお、論文採録の場合には、掲載別刷代をお支払い頂きます。

6. 送付先及び問合せ先

河内亮周

東京工業大学大学院情報理工学研究科数理・計算科学専攻

〒152-8552 目黒区大岡山2-12-1

TEL [03] 5734-3868, FAX [03] 5734-3204

E-mail : kawachi@is.titech.ac.jp

※問合せはなるべく電子メールにてお願いします。

7. 小特集編集委員会

委員長 松本 勉 (横浜国大)

委員 浅野智之(ソニー), 岩田 哲(名大), 岡田光司(東芝ソリューション), 岡本 健(筑波技大), 桶屋勝幸(ルネサスエレクトロニクス), 金岡 晃(筑波大), 菊池浩明(東海大), 清本晋作(KDDI研), 國廣 昇(東大), 桑門秀典(神戸大), 駒野雄一(東芝), 境隆一(阪電通大), 崎山一男(電通大), 佐々木 悠(NTT), 時田俊雄(三菱電機), 中西 透(岡山大), 花岡悟一郎(産総研), 廣瀬勝一(福井大), 本間尚文(東北大), 松尾和人(情報セキュリティ大), 松尾真一郎(NICT), 松崎なつめ(パナソニック), 宮地充子(北陸先端大), 安永憲司(九州先端研), 吉田真紀(阪大)

幹事 河内亮周(東工大), 寺西 勇(NEC)

——システム数理学と応用小特集号

(英文論文誌 A) 論文募集——

システム数理学と応用小特集編集委員会

システム数理学は、数理モデルに基づいた設計、解析、検証、制御のための方法論を研究する分野であり、サイバーフィジカルシステム、人間-機械システム、オープンシステムサイエンス、システムバイオロジーなど、最近注目されている様々なシステムに応用することができます。

そこで、システム数理学とその応用に関して、最新の成果や将来の課題を展望することを目的として、小特集号(平成25年2月号)を企画しました。皆様の積極的な御投稿をお願いします。

1. 対象分野

システム数理学の基礎理論、それに基づいた解析、設計、検証、制御のための方法論、各種応用事例に関する研究成果を期待します。

- (1) システム理論(ペトリネット, コンカレントシステム, 離散事象システム, ハイブリッドシステム)
- (2) システム設計・検証(モデル検査, 証明系, スケジューリング, スーパーバイザ制御)

- (3) サイバーフィジカルシステム(組込みシステム, リアルタイムシステム)
- (4) ヒューマンファクタの数理(人間行動の解析とモデル化, ビジネスプロセス, サービスサイエンス)
- (5) 新しい数理的手法(オープンシステムサイエンス, システムバイオロジー)
- (6) システム数理的手法の応用・ケーススタディ(マルチカーエレベータ, 生産システム, 交通システム, 企業情報システム)

2. 論文の執筆と取扱い

・通常の英文論文と同一とし、原則として、論文は刷り上がり8ページ以内、レターは2ページ以内とします。詳細は、「投稿のしおり」http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_ess.htmlを御参照下さい。

・投稿は電子投稿でのみ受け付けます。登録と投稿はhttps://review.ieice.org/regist_e.aspxで行えます。なお、登録の際、“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”については “[Special-EA] Mathematical Systems Science and its Applications” を選択して下さい。“[Regular-EA]” を選択しないよう御注意願います。また、“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を論文投稿締切日までに下記送付先(ゲストエディタ)まで、電子メール、FAX、郵送のいずれかの手段で送付して下さい。郵送の場合封筒には「システム数理学と応用小特集号」と朱書して下さい。

・本小特集号に論文を投稿する場合、著者のうち少なくとも1名は本会の会員である必要があります。ただし、招待論文に関してはこの限りではありません。また、全ての著者が会員であることを推奨致します。入会につきましては下記 URL を参照下さい。

<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>

査読後の再提出(条件付採録)の期間が通常の60日以内よりも短縮する場合がありますので、あらかじめ御了承下さい。採録論文数が多くなった場合には、一部次号に掲載される可能性があります。なお、論文採録の場合は掲載別刷代が必要となります。

3. 論文投稿締切日 平成24年3月31日(土) 必着

4. 送付先・問合せ先

名嘉村盛和 琉球大学工学部情報工学科

〒560-8531 沖縄県中頭郡西原町千原1番地

TEL [098] 895-8715, FAX [098] 895-8727

E-mail : morikazu@ie.u-ryukyuu.ac.jp

5. 小特集編集委員会

ゲストエディタ: 名嘉村盛和(琉球大)

編集委員: 磯部祥尚(産総研), 太田 淳(愛知県立大), 北村 聖一(三菱電機), 田岡智志(広島大), 土屋達弘(阪大), 宮本俊幸(阪大), 山口真悟(山口大), 山崎達志(摂南大), 山根 智(金沢大)

——無線通信のための符号化及び 符号理論に基づく信号処理小特集号

(英文論文誌 B) 論文募集——

無線通信のための符号化及び 符号理論に基づく信号処理小特集編集委員会

近年、無線通信の更なるスループット及び信頼度向上を目指して、より高性能な通信路符号化・ネットワーク符号等の符号化技術や符号理論に基づく信号処理が盛んに検討されています。具体的には、高性能な誤り訂正符号や、誤り訂正符号とネットワーク符号の統合、ターボ等化などが挙げられます。これらは、今後の無線通信技術の核となることが期待されています。そこで、この分野の最新技術を広く内外から集め、今後の研究開発を促進する目的で本小特集号(平成24年12月号掲載)を企画致します。

1. 対象分野

無線通信のための符号化及び符号理論に基づく信号処理に関する以下の分野を対象とします。

- ・通信路符号
- ・ネットワーク符号
- ・重畳符号
- ・分散符号
- ・時空間符号
- ・符号理論に基づく信号処理

2. 論文の執筆と取扱い

通常の英文論文と同一とします。ページ数は、原則として、論文の場合は刷り上がり8ページ、レターの場合は刷り上がり2ページを標準とします。初期投稿時のレターの最大ページ数は4ページです。標準ページ数を超えると、掲載別刷代が急に高くなりますので御注意下さい。詳細は Information for Authors (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_cs.html) を御参照下さい。査読後の再提出期間(通常は60日)を短縮する場合があります。

3. 投稿方法

Webによる電子投稿のみ受け付けます。以下の手順で御投稿下さい。

手順1: https://review.ieice.org/regist_e.aspx から登録を行って下さい。初期投稿時に、編集可能な論文本体(TeX/Word)、図、著者の写真、biographyも投稿する必要があります。なお登録時には必ず“Type of Issue (Section)/Category of Transactions”で [Special-EB] Coding and Coding Theory-Based Signal Processing for Wireless Communications を選択して下さい。[Regular-EB] を決して選択しないで下さい。

手順2: 登録時に生成される“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”と“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”を、論文投稿締切日までに下記送付先へ電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法でお送り下さい。これらの書類が期日までに届かない場合、投稿が取下げになることがあります。

4. 論文投稿締切日 平成24年4月13日(金) 必着

5. 投稿書類送付先及び問合せ先

山里敬也

名古屋大学教養教育院教養教育推進室教材開発部門

〒464-8603 名古屋市千種区不老町 C3-1 (631)

TEL [(052) 747-6596, FAX [(052) 789-3173

E-mail: rcs_ac-ss@mail.ieice.org

論文特集号原稿募集

6. 小特集編集委員会

委員長: 大槻知明(慶大)

幹事: 山里敬也(名大), 岡本英二(名工大)

委員: 石井光治(香川大), 井田一郎(富士通研), 衣斐信介(阪大), 岡田 啓(名大), 奥村幸彦(NTTドコモ), 小西 聡(KDDI研), 須山 聡(東工大), 平明徳(三菱電機), 西村寿彦(北大), 林 和則(京大), 村田英一(京大)

7. 付記

* 締切日を厳守して下さい。

* 招待論文を含む全ての採録論文については掲載別刷代(別刷50部含む)が必要となります。

* 投稿に際しては、著者のうち少なくとも1名は本会会員でなければなりません。ただし招待論文に関してはこの限りではありません。必要な投稿資格を満たしていない著者からの投稿論文については、投稿を受け付けないこととなりますので御注意下さい。入会の案内はこちらを御覧下さい。 <http://www.ieice.org/jpn/nyukai/susume.html>

——ネットワーク社会の更なる発展を支える 光通信技術論文特集号

(和文論文誌 B) 論文募集——

ネットワーク社会の更なる発展を支える 光通信技術特集編集委員会

光通信技術の進歩は、コアネットワークシステムからアクセスシステムに至る通信ネットワーク全体の劇的な高速化を実現し、社会インフラとしてのブロードバンドサービスの全国的な普及を支えています。更にこれをベースとして、クラウドコンピューティングの進展やスマートフォンに代表される移動体端末の進化が推し進められ、より高度なサービスが実現されつつあります。光通信技術は、このようなクラウド時代の新たなブロードバンドサービスを支え続け、また、急増する移動体トラフィックのオフロードに対応するために、更に発展してゆくものと期待されています。これらを支える新たな技術として、デジタルコヒーレント伝送技術、光信号処理や光バケット・バースト技術、光多重アクセス技術、光ネットワーク制御技術、光通信用誤り訂正技術、新光ファイバ技術など、様々な技術の研究開発が進められています。そこで本特集号(2013年3月号)では、ネットワーク社会の更なる発展を支える、コアネットワーク分野及びアクセスネットワーク分野の新たな光通信技術に関して、幅広く論文を募集することとします。積極的な御投稿をお待ちしております。

1. 対象分野

光通信方式、光変復調・符号化方式、光通信機器、光ファイバ伝送路、光デバイスのシステム応用、光通信網・規格、光アクセスネットワーク、光無線融合技術、その他、光通信方式・光アクセス方式の関連分野

2. 論文の執筆と取扱い

通常的一般論文と同一とし、論文は原則として刷り上がり8ページ以内とします。詳細は和文論文誌投稿のしおり http://www.ieice.org/jpn/shiori/cs_mokuji.html を御参照下さい。査読後の再提出期間が短縮される場合があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 投稿方法

(A) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に到着するように送付して下さい。

【注意】

登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール (Notification of completion for Temporary Registration) が送信されますので、メール内に記載の URL から「仮登録情報の修正/削除、電子投稿 (原稿のアップロード) 画面」にアクセスして下さい。表示される画面から原稿のアップロードができますので、必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

(B) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用データを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

送付先:

電子情報通信学会出版事業部ソサイエティ誌出版課
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館
郵送時、封筒に「光通信技術特集」と朱記して下さい。
FAX [03] 3433-6616 E-mail: wabun-b@ieice.org

4. 主なスケジュール

投稿締切: 2012年6月11日 (月) 厳守
最終判定予定: 2012年11月中旬
発行月: 2013年3月号

5. 特集編集委員会

編集委員長 上田裕巳 (東京工科大)
編集幹事 可児淳一 (NTT), 宮田英之 (富士通研)
編集委員 池田博樹 (日立), 植之原裕行 (東工大), 大越春喜 (古河電工), 太田昌孝 (東工大), 神尾享秀 (NICT), 小泉佑揮 (阪大), 小崎成治 (三菱電機), 齊藤晋聖 (北大), 島田達也 (NTT), 外林秀之 (青学大), 坪井利憲 (東京工科大), 廣岡俊彦 (東北大), 丸田章博 (阪大)

6. 問合せ先

可児淳一 (NTT アクセスサービスシステム研究所)
〒239-0847 横須賀市光の丘 1-1, Y707C
TEL [046] 859-2196, E-mail: kani.junichi@lab.ntt.co.jp
宮田英之 (富士通研究所ネットワークシステム研究所)
〒211-8588 川崎市中原区上小田中 4-1-1, 研 S207
TEL [044] 754-2636, E-mail: hmiyata@jp.fujitsu.com

——マイクロ波論文 (大学発) 特集号

(和文論文誌 C) 論文募集——

マイクロ波論文 (大学発) 特集編集委員会

近年の携帯電話に代表されるワイヤレス情報通信機器の飛躍的普及に伴い、マイクロ波・ミリ波帯におけるデバイス、回路、システム等の技術は急速に進歩し続けております。また将来に向けてより高度な技術が求められております。こうした要求に対して、大学等の教育研究機関による基礎的研究、産業界との共同研究の推進は、技術的貢献のみならず若手技術者の育成などの面でも、この分野の発展に大きく寄与することはいまでもありませ

ん。そこで、和文論文誌 C 分冊では、大学をはじめとする教育機関が主体となって行われた研究、開発成果を集約した「マイクロ波論文 (大学発) 特集号」(平成 24 年 12 月号) の発行を企画致しました。本特集号の目的は、教育機関でのマイクロ波・ミリ波技術の基礎研究から応用研究にわたる優れた研究成果を発掘し、それらの成果を、産業界をはじめとする幅広い分野の方々に紹介することとしております。対象分野は、各種回路、アンテナ、通信システム、シミュレーション技術、測定評価技術などマイクロ波・ミリ波技術全般としておりますので、教育機関の皆様からの積極的な御投稿を期待しております。

1. 対象分野

マイクロ波・ミリ波技術全般が対象で、トピックスを以下に示しますが、これらに限定するものではありません。

- ・能動回路・受動回路・アンテナ
- ・通信システム
- ・測定評価技術
- ・シミュレーション技術
- ・マイクロ波・ミリ波応用

2. 論文の執筆と取扱い

通常の和文論文誌と同様とし、論文は刷り上がりページ数 8 ページ程度、ショートノートは 2 ページ程度とします。執筆の詳細は「和文論文誌 C 投稿のしおり」(http://www.ieice.org/jpn/shiori/es_mokuji.html) を御参照下さい。なお、査読後の再提出期間 (通常は 60 日) を短縮する機会があることをあらかじめ御了承下さい。

3. 論文投稿締切日 平成 24 年 3 月 30 日 (金) 必着

4. 投稿方法

投稿は原則、電子投稿とします。https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用データを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に電子メール添付、FAX、郵送のいずれかの方法で送付して下さい。

【注意】登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール (Notification of completion for Temporary Registration) が送付されます。メール内に記載の URL にアクセスし、「電子投稿 (ファイルアップロード)」から必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

送付先: 電子情報通信学会出版事業部ソサイエティ誌出版課
〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内
FAX [03] 3433-6616
E-mail: wabun-c@ieice.org

5. 問合せ先

川上憲司 三菱電機株式会社情報技術総合研究所光・マイクロ波回路技術部
〒247-8501 鎌倉市大船 5-1-1
TEL [0467] 41-2549
E-mail: Kawakami.Kenji@dc.mitsubishielectric.co.jp

6. 特集編集委員会

委員長 高木 直 (東北大)
幹事 川上憲司 (三菱電機)
編集委員 石崎俊雄 (龍谷大), 伊東健治 (金沢工大), 小野直子 (STARC), 加屋野博幸 (東芝), 河合 正 (兵庫県立大), 佐藤 圭 (NTT ドコモ), 沢田浩和 (東北大), 平塚敏朗 (村田製作所), 山口 陽 (NTT)

——理論計算機科学～アルゴリズムと 計算理論の新展開～小特集号

(英文論文誌 D) 論文募集——
理論計算機科学小特集編集委員会

本会は、情報・システムサイエティの英文論文誌 IEICE Transactions on Information and Systems の 2013 年 3 月号において、小特集号「理論計算機科学～アルゴリズムと計算理論の新展開～(Special Section on Foundations of Computer Science—New Trends in Algorithms and Theory of Computation—)」を掲載致します。本小特集は、2003 年まで発行されて参りました LA シンポジウム小特集の後継にあたり、理論計算機科学の最新研究の御発表の場として、読者の方、研究者の方より御好評を頂くうち 10 回目を迎えるものです。今回の小特集でも、下記分野・関連する新しい分野のオリジナル論文を募集致しますので、奮って御投稿下さい。

1. 対象分野

- ・計算の理論とモデル
チューリング機械、帰納的関数、書換え系、並列・分散計算、量子計算、分子計算等
- ・オートマトンと形式言語理論
様々な文法モデル、セルオートマトン、言語・記号処理への応用、符号理論、計算学習理論等
- ・アルゴリズムとデータ構造
グラフアルゴリズム、組合せ・最適化アルゴリズム、計算幾何、確率・近似・並列・分散等の各種アルゴリズム
- ・計算の複雑さの理論
アルゴリズムの計算量、計算可能性、回路計算量、通信計算量等

上記以外でも、理論計算機科学の研究分野に寄与するものであれば広く歓迎します。

2. 論文投稿要領

- ・御投稿にあたっては、“The Information for Authors” (http://www.ieice.org/eng/shiori/mokuji_iss.html) を御一読の上、できるだけ本会の論文スタイル (<http://www.ieice.org/ftp/index-e.html>) にて原稿を御準備頂きますようお願い致します。標準的な原稿ページ数は、ペーパーで 8 ページ、レターで 2 ページとなります。
- ・投稿原稿の御提出は、本会の Web サイト (https://review.ieice.org/regist_e.aspx) を通じてお願いします。電子メールや郵便での御投稿は受け付けできません。御投稿の際は、投稿フォームの“Type of Issue (Section)/Transactions”の項目にて、“[Special-ED] Foundations of Computer Science”をお選び下さい。
- ・原稿御提出後一週間以内に、“Confirmation Sheet of Manuscript Registration”と“Copyright Transfer and Page Charge Agreement”を下記、編集委員長まで、電子メール添付、FAX、郵送、のいずれかの方法でお送り下さい。

堀山貴史 埼玉大学大学院理工学研究科
〒338-8570 さいたま市桜区下大久保 255
TEL & FAX [048] 858-3957
E-mail: horiyama@al.ics.saitama-u.ac.jp

- ・原稿提出の締切は 2012 年 3 月 28 日(水)です。

3. その他注意事項

- *論文が採録となった場合、掲載別刷代(論文別刷代金を含

む)をお支払い頂くことになります。

- *条件付採録の場合の改訂原稿再提出までの期限は、通常の 60 日より短縮される場合があります。

- *投稿に際し、著者のうち少なくとも 1 名は、本会会員でなければなりません。投稿資格を満たさない著者からの御投稿は受け付けません。入会の案内は (<http://www.ieice.org/jpn/nyukai/index.html>) を御覧下さい。

4. 小特集編集委員会

編集委員長(ゲストエディタ): 堀山貴史(埼玉大)

編集委員: 荒木 徹(群馬大)、泉 泰介(名工大)、上原隆平(北陸先端大)、宇野裕之(阪府大)、小野廣隆(九大)、河内亮周(東工大)、日下卓也(岡山大)、酒井正彦(名大)、定兼邦彦(NII)、瀧本英二(九大)、谷 聖一(日大)、玉置 卓(京大)、中村篤祥(北大)、西村治道(阪府大)、藤田 聡(広島大)、溝口佳寛(九大)、宮崎修一(京大)、山崎浩一(群馬大)

お問合せ等は編集委員長まで、可能な限り電子メールにてお願い致します。(件名に「IEICE (FCS2013)」とお書き下さい。)

——学生論文特集号(和文論文誌 D) 論文募集——

学生論文特集編集委員会

和文論文誌 D 編集委員会では、情熱と進取の気概にあふれる若手研究者を育成するために、学生論文の特集号(2013 年 3 月号)を企画致しました。情報通信技術の発展は、多様な研究に支えられており、学生は日々高度化する技術を体系的に学ぶと同時に、若き研究者として研究の最先端を担っています。学生の研究成果が広く論文として刊行されることは、情報通信分野の学術活性化にとって極めて重要です。本特集号を通して、次世代を担う若手研究者による研究の広がりを世の中に示すことはもちろん、若手研究者同士の分野横断的な新しい研究交流、そして研究活性化の契機となることを期待しています。更に、論文の執筆・修正を通じて、若手研究者の方々が、問題の本質を捉え、自らのアイデアを整理・検証し、その核心を必要十分に説明する能力を涵養されることを望んでいます。是非この機会に研究成果を取りまとめ、投稿して頂くようお願い致します。通常の論文と同じ査読基準で論文を評価しますが、査読・編集を通じて、筆頭著者が学生であることを踏まえたコメントを返すように心掛けております。著者におかれましては、指導教員と十分議論し論文の完成度を高めて、投稿して頂くようお願い致します。なお、特に秀でた論文については、「学生論文特集号秀逸論文(仮称)」などとして掲載することを予定しています。

1. 対象分野

情報・システム分野全般:

情報・システム基礎、計算機システム、ディペンダブルコンピューティング、ソフトウェアシステム、ソフトウェア工学、情報ネットワーク、データ工学・Web 情報システム、人工知能・データマイニング、ヒューマンコンピュータインタラクション、オフィスインフォメーションシステム、教育工学、福祉工学、生体工学、バイオサイバネティクス、ニューロコンピューティング、パターン認識、画像・映像処理、画像認識、コンピュータビジョン、コンピュータグラフィックス、マルチメディア処理、音声、聴覚、音楽情報処理、自然言語処理、感性情報処理

2. 対象論文

学生が筆頭著者である論文に限定します。ただし、学生とは投稿時点若しくは2012年3月末時点で学生（社会人学生を含む）であることを指します。

3. 論文の執筆と取扱い

論文の執筆要領、査読基準は通常の投稿論文と同一です。システム開発論文も受け付けますが、レターは除きます。「投稿のしおり」は下記 URL で閲覧できます。

http://www.ieice.org/jpn/shiori/iss_mokuji.html

4. 論文投稿方法

(A) 電子投稿

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿原稿の PDF ファイルと編集用電子ファイルを登録して下さい。登録後に作成される投稿者チェックリスト・著作権譲渡書を投稿締切日までに学会事務局に送付して下さい。

【注意】 登録時点で原稿のアップロードが困難な場合、「郵送による投稿」を選択し、一旦登録を完了させて下さい。連絡先メールアドレスにメール（Notification registration completion）が送信されます。メール内に記載の URL にアクセスし、「電子投稿（ファイルアップロード）」から必ず投稿締切日までに原稿をアップロードして下さい。

(B) 郵送

https://review.ieice.org/regist_j.aspx にアクセスし、投稿論文データを登録して下さい。投稿者チェックリスト、著作権譲渡書、投稿原稿、編集用電子ファイルを保存したメディアを投稿締切日までに学会事務局に到着するように郵送して下さい。

送付先

〒105-0011 港区芝公園 3-5-8 機械振興会館

(社)電子情報通信学会出版事業部サイエティ誌出版課

FAX [03] 3433-6616 E-mail: wabun-d1@ieice.org

※郵送の際は、封筒に「学生論文特集号」を朱記して下さい。

5. 論文投稿締切日 2012年6月3日（日）23：59 厳守

（6月4日0時0分に受付がクローズします）

6. 問合せ先

(社)電子情報通信学会 和文論文誌 D 担当

TEL [03] 3433-6692 E-mail: wabun-d1@ieice.org

7. 特集編集委員会

委員長 杉本晃宏 (NII)

幹事 井上美智子 (奈良先端大), 山口 修 (東芝), 和田親宗 (九工大)

委員 和文論文誌 D 編集委員 (2012年度)

複写される方へ

(社)電子情報通信学会は、本誌掲載著作物の複写に関する権利を一般社団法人学術著作権協会に委託しております。本誌に掲載された著作物の複写を御希望の方は、(社)学術著作権協会より許諾を受けて下さい。ただし、企業等法人による社内利用目的の複写については、当該企業等法人が社団法人日本複写権センター（(社)学術著作権協会が社内利用目的の複写に関する権利を再委託している団体）と包括複写許諾契約を締結している場合にあっては、その必要はございません。（社外頒布目的の複写については、許諾が必要です。）

<権利委託先> 一般社団法人学術著作権協会

〒107-0052 東京都港区赤坂 9-6-41 乃木坂ビル 3F FAX [03] 3475-5619 E-mail: info@jaacc.jp

複写以外の許諾（著作物の引用、転載、翻訳等）に関しては、(社)学術著作権協会に委託致しておりません。直接、下記へお問い合わせ下さい。

<問合せ先> (社)電子情報通信学会

〒105-0011 東京都港区芝公園 3-5-8 機械振興会館内 TEL [03] 3433-6691 FAX [03] 3433-6659

Reprographic Reproduction outside Japan

Making a copy of this publication

Please obtain permission from the following Reproduction Rights Organizations (RROs) to which the copyright holder has consigned the management of the copyright regarding reprographic reproduction.

Obtaining permission to quote, reproduce; translate, etc.

Please contact the copyright holder directly.

→Users in countries and regions where there is a local RRO under bilateral contract with Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Users in countries and regions of which RROs are listed on the following website are requested to contact the respective RROs directly to obtain permission.

Japan Academic Association for Copyright Clearance (JAACC)

Address 9-6-41 Akasaka, Minato-ku, Tokyo 107-0052 Japan

Website <http://www.jaacc.jp/> E-mail: info@jaacc.jp Fax: +81-33475-5619